

ATOMU-BASE 取扱説明書



禁止

下記の禁止事項を無視して誤った使用をした場合、ケガや事故が発生する可能性があります。必ずお守りください。



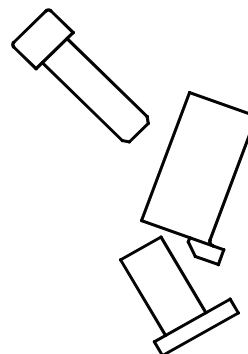
事前検討せずにワイヤーレスで
ATOMU-BASEを使用しない



ATOMU-BASEは、装置によって柱の転倒を防止するものではありません。柱脚のアンカーボルト及びベースプレートの耐力で柱の自立が可能である事を確認する必要があります。ご使用の前には、弊社にて荷重検討が必須です。



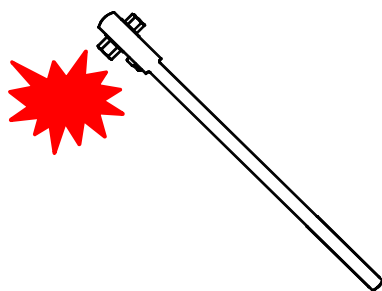
装置および専用工具の
分解・改造をしない



動作不良などにより、使用時に思わぬケガをする恐れがあります。



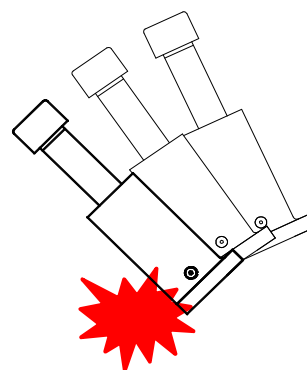
専用工具で叩かない



専用工具が損傷し、動作不良などにより、使用時に思わぬケガをする恐れがあります。



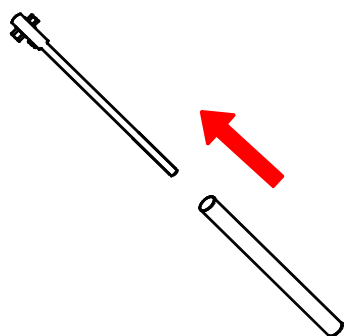
装置および専用工具を
投げたり落とさない



各部が損傷し、動作不良などにより、使用時に思わぬケガをする恐れがあります。



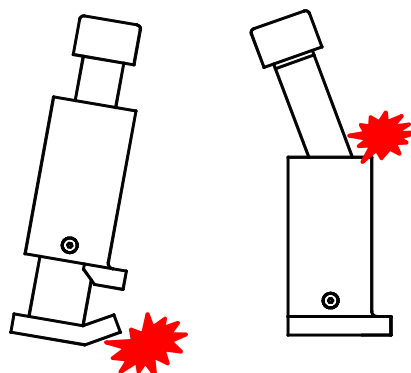
専用工具にパイプを継ぎ足して
無理な操作をしない



オーバーロードにより、故障の原因になります。



不具合のある装置・専用工具を
使用しない



ATOMU-BASEおよび専用工具に著しい傷や変形が見られた場合には、すぐに使用を中止し、交換してください。

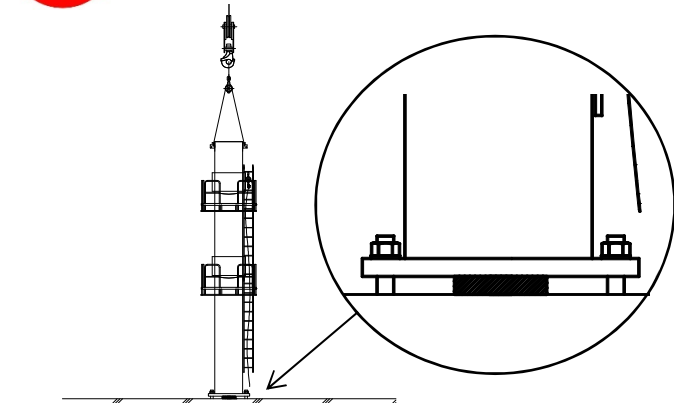


ATOMU-BASEを本来の目的外に使用しない
装置の損傷や、使用時に思わぬケガをする恐れがあります。

下記の禁止事項を無視して誤った使用をした場合、ケガや事故が発生する可能性があります。必ずお守りください。



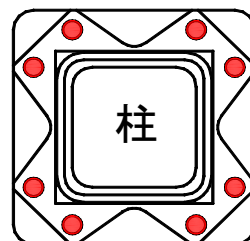
アンカーボルトのナットを
入れずに玉掛を解放しない



ATOMU-BASEは、装置によって柱の転倒を防止するものではありません。柱脚のアンカーボルトにより転倒防止を行うため、解放前には必ずナットが入っている事を確認してください。



アンカーボルトのナットは
全数入れる



アンカーボルトのナットを全数入れない場合、アンカーボルト1本あたりに生じる応力が想定を超える恐れがあります。

下記の注意事項を無視して誤った使用をした場合、装置の損傷や、性能が十分に得られない可能性があります。



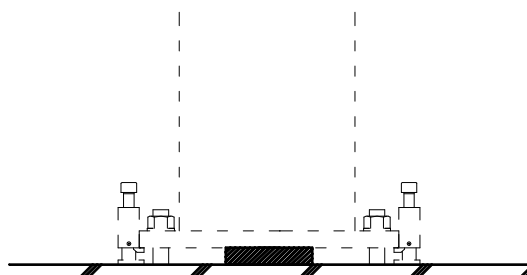
建方前にATOMU-BASE
検討書の建方条件を確認



大梁架設時の仮ボルト条件、ベースモルタルサイズ、各特記事項を確認してください。検討書の条件を無視した場合、想定した応力を超える恐れがあり、倒壊する可能性があります。



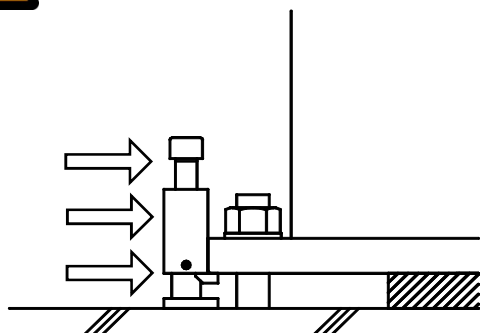
ベースモルタル高さを確認



ベースモルタル高さ20mm以上から使用できます。
※ATOMU-BASEのツメ高さ14mm



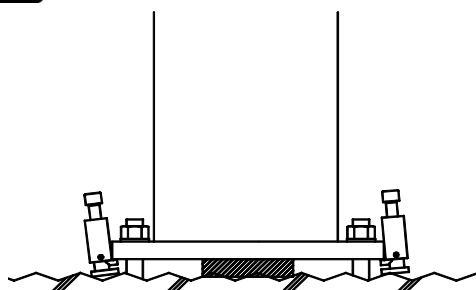
ATOMU-BASEのツメを
奥まで挿入する



操作中に装置が外れる恐れがあります。



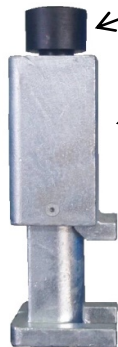
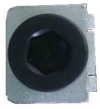
ATOMU-BASE設置面の
凹凸に注意



凹凸面にATOMU-BASEを設置した場合、装置が外れる可能性があります。コンクリート天端を平滑に仕上げてください。
※凹凸面で使用する場合は、装置を足で押さえ、外れないようにして操作してください。

各部の名称

■ ATOMU-BASE



① 調整ボルト

② 本体シリンダーカバー

③ 本体シリンダー

H(高さ)244mm, W(幅)74mm, D(奥)75mm

※ツメ可動範囲：14～90mm

■ 専用工具

(ATOMU-701, ATOMU-BASE兼用)



① ラチェットレンチ

■ 専用工具

(ATOMU-BASE)



① ラチェットレンチ



② 延長ロッド 400mm



③ 延長ロッド 200mm



④ ソケット

建方の流れ

ページ

P6

柱の受け入れ
墨合わせ



P6

アンカーボルト仮締め
ATOMU-BASE設置



P6

クレーン解放



P7

建て入れ調整（柱単独での調整）



梁入れ



再計測



P7

歪み直し
※必要な場合のみ



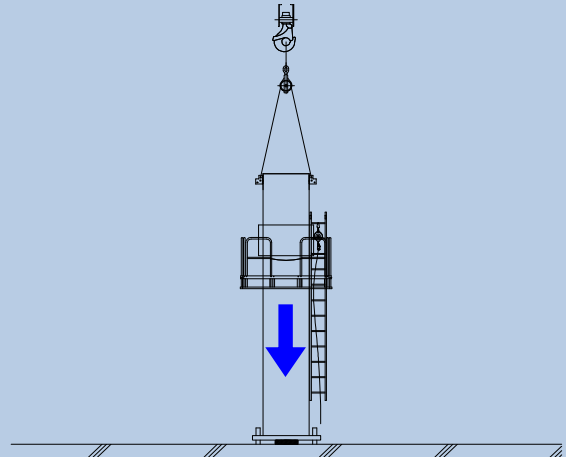
梁継手の本締め、溶接



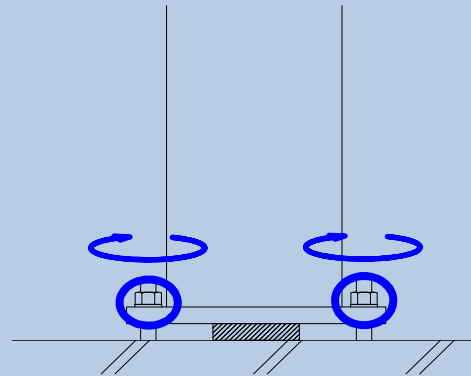
ATOMU-BASEの取外し

ATOMU-BASEの設置

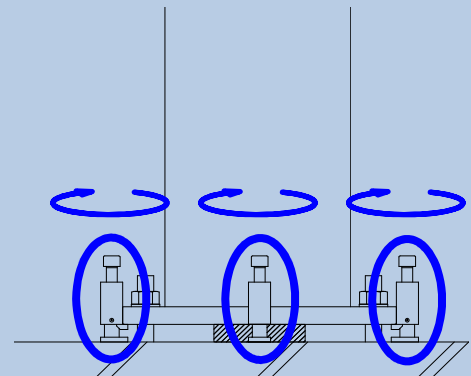
1 柱を降ろし、墨合わせする



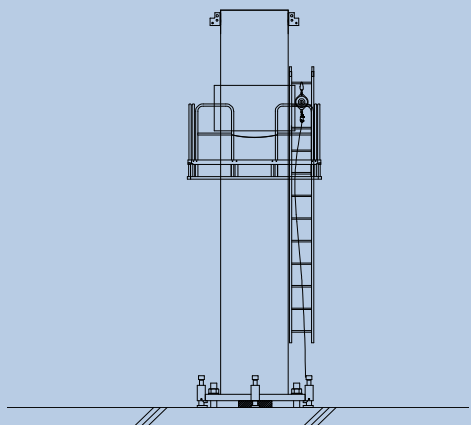
2 アンカーボルトのナットを入れ、手締めする



3 ATOMU-BASEを設置し、手締めする



4 クレーン解放



禁止

アンカーボルトのナットを入れずに解放厳禁!!
柱が転倒する恐れがあります。

建て入れ調整, 歪み直し

1 ATOMU-BASEを緩める (下降側のATOMU-BASE)

2 アンカーボルトのナットを締める (下降側のナット)

3 アンカーボルトのナットを緩める (上昇側のナット)

4 ATOMU-BASEを締める (上昇側のATOMU-BASE)

※ 歪み直し時には、隣接する柱も同様の作業を行ってください。

建て入れ調整方向



注意

建て入れ調整終了後、装置及び各アンカーボルトのナットを増し締めして下さい。(柱の固定)



注意

柱を倒し過ぎた場合、上昇側の装置を緩めて下さい。



下降側



上昇側

1 装置を緩める

2 アンカーナットを締める

4 装置を締める

3 アンカーナットを緩める

2 アンカーナットを締める

1 装置を緩める

2 アンカーナットを締める

3 アンカーナットを緩める

4 装置を締める

3 アンカーナットを緩める



注意

下記事項を守らずに使用した場合、
装置のツメが破損する恐れがあります！

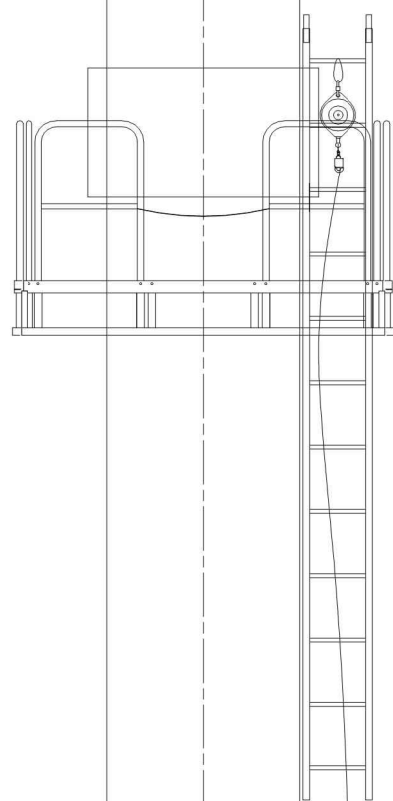
建て入れ調整方向



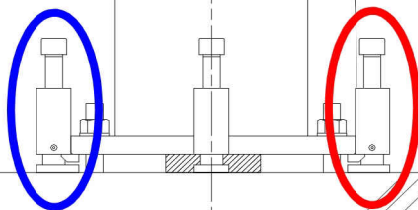
下降側



上昇側



①装置を緩める



②装置を締める



注意

装置の押上げ操作を行う前に、反対側の装置が十分に緩めてある事を確認してください！



注意

建て入れ調整終了後、全てのアンカーボルトにナットを入れ、緩みのないように締めてください！



港製器工業株式会社



港製器工業株式会社

【本社】

〒569-8588 大阪府高槻市唐崎中3-20-7
TEL:072-677-5743 FAX:072-678-5237

【東京事務所】

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル7階
TEL:03-6435-9501 FAX:03-6435-9502

【中京事務所】

〒503-0322 岐阜県海津市平田町土倉121番
TEL:0584-66-5910 FAX:0584-66-5911
